

は 建災防広島

発行所 ☎730-0012

広島市中区上八丁堀8番10号
建設業労働災害防止協会広島県支部
TEL (082) 228-8250印刷所 広島市西区東観音町3番8号
中外印刷株式会社
TEL (082) 291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建災防広島」の購読料が含まれています。 11月号

無事故の歳末 明るい正月

建設業年末年始労働災害防止強調期間

(令和2年12月1日～令和3年1月15日)

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、国民生活や経済活動に対する制約など大きな影響を受けました。そして、現在もこのウイルスへの感染予防対策が求められており、「三つの密」を避けると共に、必要な感染予防措置を講じていただきますようお願いします。

建設業における全国の労働災害の発生状況は、10月速報値で死亡者数が180人で前年同期に比べて7人の増加(+4.0%)、休業4日以上の死傷者数は9,692人で前年同期より98人の減少(-1.0%)となっております。

建設業の死亡災害は全産業の発生件数の約35%を占めており、その死亡災害のうち墜落・転落によるものが最も多く全体の4割となっております。

広島県内における建設業の労働災害は、死亡者数が1人で前年同期に比べて2人の減少、休業4日以上の死傷者数は254人で前年同期より28人の増加(+12.4%)となっており、労働災害の発生件数の増加が懸念されます。

死亡災害は、ビル新築工事現場で工事用エレベーターのクライミングをする準備作業において、墜落したものである。

死傷災害の型別では、墜落・転落、転倒、激突され、高温・低温の物との接触及び交通事故が増加し、挟まれ・巻き込まれ、動作の反動は減少しています。

建設業の第8次労働災害防止計画では、「死傷災害」、「墜

落・転落災害」の減少を目標設定していますが、10月の災害速報値で昨年実績を上回っており、今一度、墜落・転落災害防止対策の推進をお願いします。

広島県内における今年度上期の公共工事動向が公表され、請負金額は前年同期比12.5%増の1,911億で、9月末累計の請負金額は過去10年間で最高となっております。

さらに、建設現場では一昨年の豪雨災害の復旧工事も各地で継続施工されており、従来から続く技術者・技能者の慢性的な人手不足に加え、作業者の高齢化、新規入職者の増加に伴う作業環境が労働災害の背景要因になってはいないか危惧するところです。

建災防広島県支部では、重点実施事項として労働災害防止に係る各種広報・啓発活動、安全衛生教育の実施、安全衛生管理活動に対する指導・支援等の実施や施策として「墜落・転落災害撲滅キャンペーン」、「STOP! 熱中症クールワークキャンペーンひろしま」等を進めておりますが、コロナ禍の影響等もあり、結果として安全管理活動の徹底がまだ十分浸透しているとは言えない状況です。

何かとあわただしくなる「建設業年末年始労働災害防止強調期間」に、上記の重点実施事項を含む災害防止対策

の徹底に加え、教育、点検、統括管理、作業手順遵守等の事項について、全現場をあげて再確認をお願いし、「無事故の歳末、明るい正月」を迎えたいと思います。



目次

○ 無事故の歳末 明るい正月	1	○ 全国労働衛生週間に 分会でパトロールを行いました!	6
○ 長時間労働削減を始めとする 働き方の見直しに向けた取組について	2	○ 労働災害発生状況	7
○ 「過重労働解消キャンペーン」を実施します	3	○ 一人親方等安全衛生教育研修会 お知らせ	7
○ 「溶接ヒューム」が特定化学物質に!	4・5	○ 講習・行事コーナー (令和2年11月～令和3年1月)	8

広島労働局長より要請がありました

長時間労働削減を始めとする 働き方の見直しに向けた取組について

令和2年10月21日

建設業労働災害防止協会広島県支部

支部長 檜山 典英 殿

長時間労働削減を始めとする働き方の見直しに向けた 取組に関する要請書

長時間労働の削減や賃金不払残業の解消、年次有給休暇の取得促進のためには、単に法令を遵守するだけではなく、長時間労働が生じている職場においては、人員の増員や業務量の見直し、マネジメントの在り方及び企業文化や職場風土等を見直していくことが必要であり、これまでの働き方を改め、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のとれた働き方ができる職場環境づくりを進める必要があります。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえた働き方も求められているところです。

また、過労死等防止対策推進法（平成26年法律第100号）において11月を「過労死等防止啓発月間」と定め、過労死等防止のための集中的な啓発を行うこととされています。

このようなことから、厚生労働省としては、長時間労働の削減を始めとする働き方の見直しに向けた取組を推進するため、昨年に引き続き、10月を「年次有給休暇取得促進期間」、11月を「過重労働解消キャンペーン」期間と定め、集中的な周知啓発等を行うこととしています。

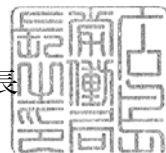
平成31年4月1日からは、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（平成30年法律第71号）による改正後の労働基準法（昭和22年法律第49号）において、時間外労働の上限規制が罰則付きで規定され、さらに、令和2年4月1日からは時間外労働の上限規制が中小企業にも適用されております。

長時間労働の削減を進めるため、厚生労働省においては、

- ① 長時間労働の是正や賃金不払残業などの解消に向けた監督指導の強化
 - ② 休暇の取得促進を始めとした「働き方の見直し」に向けた企業への働きかけの強化
- を2つの柱として、省を挙げて取り組んでいるところです。

今後とも、長時間労働削減を始めとする働き方の見直しへ向け、様々な取組を実施していく方針です。ですので、引き続き、御協力をお願い申し上げます。

広島労働局長



毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です 同月間に「過重労働解消キャンペーン」を実施します

平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法」において、11月は「過労死等防止啓発月間」とされています。

このため、厚生労働省では、同月間において、過労死等の一つの要因である長時間労働の削減等、過重労働解消に向けた集中的な周知・啓発等の取組を行う「過重労働解消キャンペーン」を実施します。

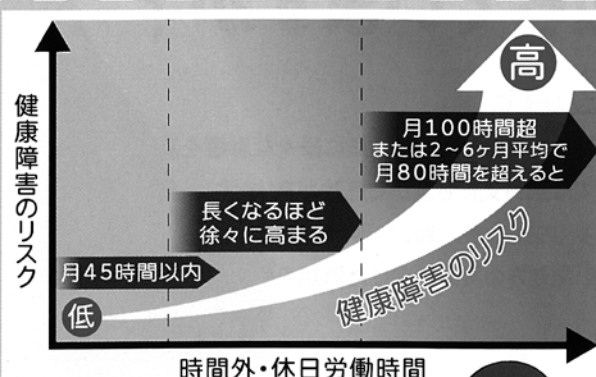
知っていますか？

○労働時間等の現状

労働時間の現状をみると、週の労働時間が60時間以上の労働者の割合は近年低下傾向であるものの、1割弱で推移しており、いまだ長時間労働の実態がみられます。また、脳・心臓疾患に係る労災支給決定件数についても依然として高い水準で推移するなど、過重労働による健康障害も多い状況にあるほか、割増賃金の不払に係る労働基準法違反も後を絶たないところです。

○過重労働と健康障害の関連性

長時間にわたる過重な労働は疲労の蓄積をもたらす最も重要な要因です。具体的には、時間外・休日労働が月45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強まります。



上の図は、労災補償に係る脳・心臓疾患の労災認定基準の考え方の基礎となった医学的検討結果を踏まえたものです。



過重労働による健康障害等を防止するためにも、
労働時間を適正に把握※¹し、次の措置を講じましょう。

過重労働による健康障害を防止するために※²

- ① 時間外・休日労働時間等を削減しましょう。
- ② 年次有給休暇の取得を促進しましょう。
- ③ 労働者の健康管理に係る措置を徹底しましょう。

賃金不払残業を解消するために※³

1

職場風土を
改革しましょう。

2

適正に労働時間の管理を
行うためのシステムを
整備しましょう。

3

労働時間を適正に
把握するための責任体制を
明確化しチェック体制を
整備しましょう。

※¹「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」（平成29年1月、厚生労働省）

※²「過重労働による健康障害を防止するため事業者が講ずべき措置」（令和2年4月、厚生労働省）

※³「賃金不払残業の解消を図るために講ずべき措置等に関する指針」（平成15年5月、厚生労働省）

令和3年4月1日から適用されます

「溶接ヒューム」が特定化学物質に！

金属アーク溶接等で発生する「溶接ヒューム」はこれまで「粉じん」として健康障害防止対策を講じてきましたが、今般、溶接ヒュームに含まれる化学物質について労働者への健康障害のリスクが高いと認められたことから、粉じん対策に加え、特定化学物質に追加し、ばく露防止措置などの必要な対策を講じていただくために、政令と厚生労働省令の改正を行いました。

これにより、特定化学物質等作業主任者の選任や特殊健康診断及び作業環境測定の実施の実施が義務付けられることとなりました。

1 政令の改正の概要

- (1) 特定化学物質（第2類物質）に「溶接ヒューム」とこれまでマンガンから除かれていた「塩基性酸化マンガン」を追加しました。
- (2) これまで金属アーク溶接等作業を行う者については「アーク溶接特別教育」を受講して頂く必要がありましたが、今回の改正でこれに加え、アーク溶接等作業を現場で指揮する方は「特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習」を修了した方を作業主任者として選任する必要があります。なお、作業主任者の選任につきましては、令和4年4月1日までに行ってください。
- (3) これまで金属アーク溶接等作業を行う者については粉じん障害防止のため、所見がない場合は3年に1回の「じん肺健康診断」の実施が必要でしたが、今回の改正で、「溶接ヒューム」に係る「特殊健康診断」についても6か月以内に1回、定期に実施する必要があります。
- (4) 塩基性酸化マンガンの製造・取扱業務を行う屋内作業場については、作業環境測定の対象となります。
なお、溶接ヒュームについては、定期的な作業環境測定の実施は必要ありません（詳細は2を参照ください）。

※ 「金属アーク溶接等作業」には、作業場所が屋内又は屋外であるに関わらず、アークを熱源とする溶接、溶断、ガウジングの全てが含まれ、燃焼ガス、レーザービーム等を熱源とする溶接、溶断、ガウジングは含まれません。なお、自動溶接を行う場合、溶接中に溶接機のトーチに近づく等、溶接ヒュームにばく露するおそれがある作業が含まれ、溶接作業に付帯する材料の搬入・排出作業等は含みません。

2 厚生労働省令の改正の概要

- (1) 測定及び換気関係
 - ① これまで金属アーク溶接等作業を行う屋内作業場については粉じん障害防止のため、少なくとも全体換気を行うこととされていましたが、今回の改正でも同様に、屋内作業場については、全体換気装置による換気の実施又はこれと同等以上の措置（プッシュプル型換気装置、局所排気装置を含みます）が義務付けられます。



- ② 金属アーク溶接等作業を継続して行う屋内作業場において、新たな金属アーク溶接等作業の方法を採用しようとするとき、又は当該作業の方法を変更しようとする場合は、あらかじめ、当該金属アーク溶接等作業に従事する労働者の身体に装着する試料採取機器（個人サンプラー）等を用いて行う測定により、空気中の溶接ヒュームの濃度を測定することが義務付けられます。

なお、法令の改正後に求められる措置を確実にを行うため、経過措置として、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に、金属アーク溶接等を行う屋内作業場については個人サンプラーによる測定を必ず実施する必要があります。

- ③ 上記測定の結果に応じて、換気装置の風量の増加その他必要な措置を講じなければなりません。なお、この措置を講じたときは、その効果を確認するため、②と同様に再度個人サンプラーによる測定が必要です。
- ④ 上記②及び③による測定を行ったときは、その結果を記録し金属アーク溶接等作業を行わなくなった日から3年間保存しなければなりません。

(2) 保護具関係

- ① これまで金属アーク溶接等作業を行う者については粉じん障害防止のため、国家検定品のうち粒子捕捉率95%以上の呼吸用保護具（粉じんマスク）の着用が義務付けられていましたが、改正後においても溶接ヒュームによる健康障害防止のため、前記(1)②、③で得られた結果などを踏まえ、有効な呼吸用保護具を使用させなければなりません。また、労働者は保護具を使うように命じられた時は使用しなければなりません。

なお、屋外や臨時作業においてはヒューム濃度の測定は必要ありませんが、呼吸用保護具は使用しなければなりません。

- ② ①のうち、前記(1)②による測定結果をもって措置する部分については、令和4年4月1日から適用になります。

(3) その他特化則の適用により、以下の項目等への対応が必要になります。

- ・ぼろ等の処理 ・不浸透性の床 ・関係者以外の立ち入り禁止措置
- ・運搬貯蔵時の容器等の使用等 ・休憩室の設置 ・洗浄設備の設置
- ・喫煙又は飲食の禁止 ・有効な呼吸用保護具の備え付け 等

3 新たな規制への対応例について

令和3年 4月1日～	○ 作業主任者技能講習修了者が不在又は不足する場合は、年度内に修了者の増員 ◎ 継続的に金属アーク溶接等作業を行う屋内作業場について、個人サンプラーによる空気中の溶接ヒューム濃度の測定（年度内に） ◎ 金属アーク溶接等作業に従事する労働者に対する健康診断の実施（以降年2回） ○ 上記濃度測定の結果に応じた換気装置等の準備及び呼吸用保護具の準備
令和4年 4月1日～	◎ 作業主任者技能講習修了者の中から作業主任者を選任 ◎ 作業場内の溶接ヒューム濃度に応じた換気 ◎ 金属アーク溶接等作業に従事する労働者に呼吸用保護具を着用させる（粉じんにかかる呼吸用保護具は従前より着用させる義務があります）

上記のうち◎は法定の義務、○は準備事項を示します。

改正内容に関する通達・資料はこちら（厚生労働省ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12725.html

条文の参照は、電子政府の総合窓口（e-GOV）法令データ提供システム

https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0100/

お問い合わせ・・・都道府県労働局または労働基準監督署

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/location.html>



全国労働衛生週間に分会でパトロールを行いました！

全国労働衛生週間が始まった10月上旬に衛生週間行事の一環として、広島分会、呉分会、尾道分会で工事現場のパトロールを行いました。

広島分会では、東区、西区、南区・安芸区、中区、東広島の5班に分かれ、広島中央労働基準監督署と合同でパトロールを実施しました。パトロールには、広島中央労働基準監督署長及び署員、公共工事の発注者である市町の職員と建災防から分会役員、安全指導者のほか支部職員、安全管理士、安全衛生支援事業推進員を含め総勢47名が参加しました。

パトロールを実施したのは、バイパスPC上部工工事、合同庁舎の耐震改修工事、大学施設改築・改修工事2現場、マンション新築工事現場の5現場でした。

各現場では、工事概要を説明していただいた後、衛生週間にちなんだ事項を中心にパトロールを行いました。パトロール後の意見交換では、現場の安全管理体制は良好で、墜落・転落、落下防護、崩壊倒壊等の防止設備も良く整備され、電気、建設機械、公衆災害防止の対策も実施されていました。どの現場も整理整頓、片付け、清掃は行き届いており、安全通路もよく整備され、掲示物等は非常にわかりやすく工夫がなされて、安全衛生の見える化が図られていました。一方で、足場幅木の未復旧、電工ドラムの使用方法、玉掛け用具の点検、保護メガネの使用、親綱の増設の指導と要望を行いました。また、衛生週間にちなんだ事項についても意見交換が行われました。

パトロールを受けられた現場の責任者は、「建災防のパトロールは、現場内や店社パトロールとは違う切り口の指摘が多く大変参考になりました。」と感想を述べられていました。

パトロールさせていただいた各現場が無事故無災害で工事を完成されることを祈念して現場を後にしました。



(合同庁舎耐震工事)



(バイパスPC上部工工事)



(大学新館改築工事)



(大学研究棟改修等工事)

令和元年・令和2年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (令和2年9月末)

事故の 型別	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	崩壊 倒壊	激突 され	はさまれ 巻き込まれ	切れ こすれ	踏み 抜き	高温・低温 の物との 接触	有害物 との接触	感電	火災	交通 事故	動作の 反動	その他	合計
令和 元年	(1) 71	17	14	14	3	(1) 14	(1) 30	17	4	3	5	1		11	19	3	(3) 226
令和 2年	(1) 78	26	16	14	5	20	26	21	2	8	2	2	1	18	15		(1) 254

() 内は、死亡で内数

令和元年・令和2年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (令和2年9月末)

署別	全 産 業							建 設 業								
	令和元年			令和2年			増減数	令和元年			令和2年			対前年 増減数	対前年 増減率 (%)	建設業 ／全産 業(%)
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計			
広島中央	1	599	600	2	611	613	13		53	53	1	76	77	24	45.3	12.6
呉	3	185	188	3	174	177	-11	2	20	22		15	15	-7	-31.8	8.5
福 山	6	440	446	1	434	435	-11		41	41		62	62	21	51.2	14.3
三 原	2	124	126	2	108	110	-16	1	27	28		16	16	-12	-42.9	14.5
尾 道	2	144	146	1	133	134	-12		18	18		25	25	7	38.9	18.7
三 次	1	115	116		142	142	26		18	18		25	25	7	38.9	17.6
広島北	1	220	221	2	210	212	-9		23	23		27	27	4	17.4	12.7
廿日市		174	174		181	181	7		23	23		7	7	-16	-69.6	3.9
合 計	16	2,001	2,017	11	1,993	2,004	-13	3	223	226	1	253	254	28	12.4	12.7

令和2年 建設業死亡災害発生状況

広島労働局 (令和2年9月末)

No.	発生日	業 種	職 種	性別	年齢	経験	事故の型	起因物	災 害 発 生 状 況
1	6月	建 築 工事業	とび	男	30代	1年	墜落、 転落	足場	ビル新築工事現場14階において、工事用エレベーターを13階から15階までクライミングする作業の準備作業を行っていた被災者が、15階エレベーターピット開口部に設置してあった墜落防止用ネットを取り外すため、エレベーターの搬器上部手すりに設定されていたブラケット足場に上がろうと足をかけたところ、足場が外れ、約60メートル下の地下1階エレベーターピットに墜落したものの。

建設業の一人親方等に対する 安全衛生教育研修会 (広島会場 無料!) お知らせ

日 時: 令和2年12月6日 (日) 13:00~16:00

会 場: リファレンス広島小町ビル 3階 (旧: MG広島小町ビル)

TKP広島平和大通りカンファレンスセンター カンファレンスルーム3B

〒730-0041 広島市中区小町3-19 TEL: 082-909-2608

申し込み: ホームページ 又は ファックス (用紙はホームページよりダウンロード)

問合せ先: 建設業労働災害防止協会 委託事業本部 ☎ 03-3453-0978 (直通)

<https://www.kensaibou.or.jp>✉: hitorioyakata@kensaibou.or.jp

令和2年度 広島県の地域別最低賃金額は据え置き

全国では、令和2年度の都道府県地域別最低賃金が令和2年10月1日付けで改訂されましたが、広島県の地域別最低賃金は昨年改訂された**1時間871円のまま据え置き**となりました。建設業にはこの額が適用されます。

広島県最低賃金は、パート、学生アルバイト、嘱託などといった雇用形態を問わず、広島県内で働くすべての労働者に適用され、この金額以下で労働者を使用することはできません。

令和2年度講習計画

(令和2年11月～令和3年1月末までの計画)

建設業労働災害防止協会広島県支部

建設工事に従事する労働者の
ための安全衛生教育
「建設従事者教育」(6時間)
*要請により、随時実施(支部)

新型コロナウイルスの感染拡大防止に関する行政からの取組要請があった場合は、中止、または延期することがあります、ご協力をお願いします。

作業主任者技能講習日程

足場の組立て等	実施場所	受付分会	コンクリート造の工作物の解体等	実施場所	受付分会	木造建築物の組立て等	実施場所	受付分会
12月22～23日	広島市	支部	11月24～25日	広島市	支部	1月13～14日	福山市	福山
型枠支保工の組立て等	実施場所	受付分会						
11月25～26日	呉市	呉						
1月26～27日	広島市	支部						

特別教育日程

足場の組立て等	実施場所	受付分会	ロープ高所作業(学科のみ)	実施場所	受付分会	フルハーネス型安全帯使用作業	実施場所	受付分会
12月18日	広島市	支部	12月15日	広島市	支部	11月27日	広島市	支部
1月21日	福山市	福山				1月28日	広島市	支部
巻上げ機(ウインチ)運転	実施場所	受付分会	低圧電気取扱業務	実施場所	受付分会			
11月19日	福山市	福山	12月10日	広島市	広島			
			1月21日	呉市	呉			

統括・職長等各種教育日程

職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者教育能力向上教育	実施場所	受付分会	建設工事の職場環境改善実施担当者講習	実施場所	受付分会
11月17～18日	広島市	広島	12月9日	広島市	支部	11月12日	広島市	支部
12月8～9日	福山市	福山						
1月20～21日	広島市	広島						
斜面点検者教育	実施場所	受付分会	現場管理者統括管理	実施場所	受付分会	足場能力向上教育のみ	実施場所	受付分会
1月19日	広島市	支部	12月17日	福山市	福山	1月20日	福山市	福山

*詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。

なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部(082)228-8250

広島県支部各分会

広島分会(082)228-8252 福山分会(084)924-4320 尾道分会(0848)22-8918 廿日市分会(0829)31-0196
呉分会(0823)22-6886 三原分会(0848)63-9920 三次分会(0824)62-4391

ホームページアドレス

建災防広島県支部 <http://www.jcosha-hiroshima.jp/>
建災防広島県支部広島分会 <http://www.jcosha-hiroshima.jp/hirosximabunkai/>
建災防広島県支部福山分会 <http://fukubun.sakura.ne.jp/>
建災防広島県支部三次分会 <http://ww7.enjoy.ne.jp/~khm62/>